米商進路だより

令和５年 12 月 18 日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第 26 号）

《　本当の学び　》

３年生の進路概況ならびに１・２年生の進路希望調査の結果がまとまりました。特筆すべきことは、国立大学である福島大学に学校推薦型選抜で本校から３名が合格したことです。３名の合格は快挙であり素晴らしい成果を上げてくれました。いずれも日商簿記検定２級に合格する等、日々の学習を大切にするとともに、探究活動に意欲的に挑戦した結果が“合格”に繋がりました。

就職希望者は、県外希望を希望していた人は、県内の有効求人倍率が高水準で推移していることを踏まえたり、面談の結果から県内就職に切り替えた人もいます。県内全域で高校生の就職希望者が減少している一方で、各企業は高卒社員の雇用に力を入れています。今年は、これまで女子を中心に採用していた職種で、男子の応募が可能になる等、就職希望者にとっては選択肢が広がったのも事実です。

さて、３年生は学習の総決算、１・２年生は期末考査の結果を踏まえ弱点強化に取り組むのが年末年始休暇だと思ってください。１・２年生は、進路実現を見据えて「作文テスト」や「適性検査」の結果から自己分析をしなければなりません。つまり、自分を知ることが求められています。どんな職業に向いているのか、対人コミュニケーション能力知ることで進路選択に活かすことができるのです。

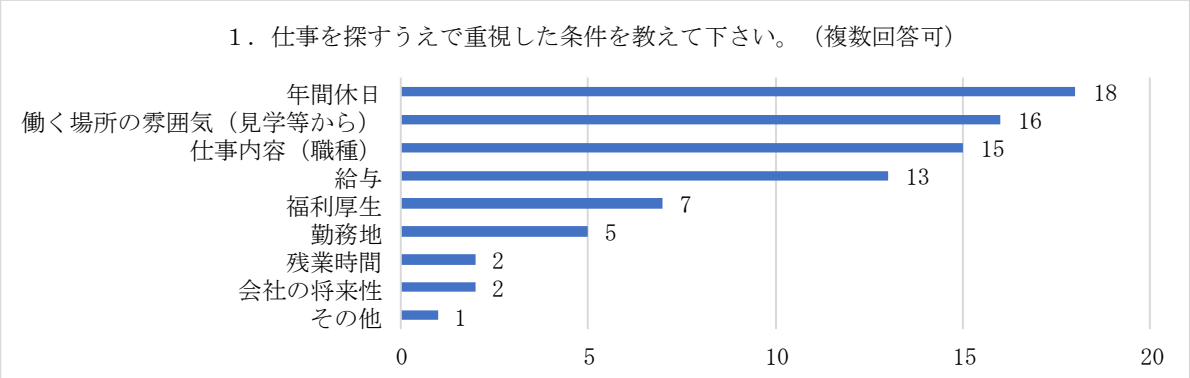
２年生は、１年生の頃と比べると就職希望者が大幅に増加しました。これまでのキャリア教育の学びだけでなく、有効求人倍率が関係しているのかもしれません。2023 年１０月現在で、県内の有効求人倍率は 4.32 倍になっています。置賜地方に限って言えば、4.78 倍と５倍に迫る勢いであり、多くの企業が若い力を必要としていて、即戦力となる人財を求めているのです。

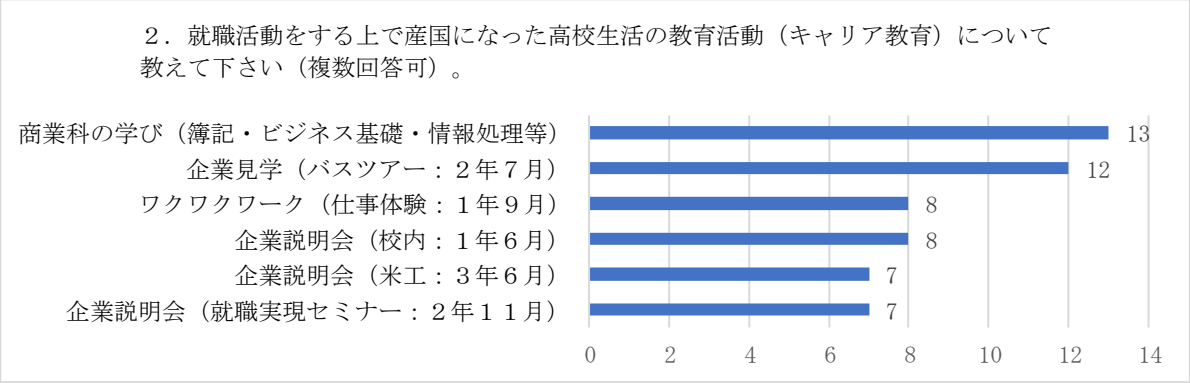
学年	３学年			２学年			１学年		
性別	男	女	比率	男	女	比率	男	女	比率
大　学	6	5	13.8%	0	4	5.0%	4	13	21.3%
短　大	2	3	6.3%	1	3	5.0%	1	1	2.5%
専門学校	6	23	36.3%	4	26	37.5%	1	20	26.3%
県内就職	12	13	31.3%	5	20	31.3%	2	18	25.0%
県外就職	0	5	6.3%	0	11	13.8%	0	12	15.0%
公務員	0	2	2.5%	1	0	1.3%	0	4	5.0%
未　定	2	1	3.8%	1	4	6.3%	1	3	5.0%
小　計	28	52	100.0%	12	68	100.0%	9	71	100.0%
合　計		80			78			79	

※　３年生の現況は合格内定者の状況であり令和５年１２月１５日（金）現在の数値です。
※　調査は提出済の調査表を集計しています。

《　本校３年生への就職意識調査　》

令和５年度に合格内定をいただいた３年生に意識調査をしました。求人票を見るときに、「給与」「仕事内容」「年間休日」等を見て、最終的に企業見学をしてから応募企業を決定する訳ですが、半数以上の人は年間休日を判断材料にしていることが分かります。有給休暇の取得のしやすさも影響しているかもしれません。給与だけでなく働く環境等も考慮しているのが分かります。





《　課題研究成果発表（山形ふるさとＣＭ大賞）　》

３年生課題研究の「映像グループ」が米沢市のＣＭ制作にチャレンジし演技賞に輝きました。授業では、一人ひとりが１５秒ＣＭの「絵コンテ（４コマ漫画）」を作成し、プレゼンした内容について外部審査により決定した作品です。今年度、グランプリに輝いたのは、高校生部門の作品であり、クオリティーの高さだけでなく企画力が求められているのがＣＭ大賞の魅力です。

令和７年１月９日（火）に３回目の基礎力診断テストを実施いたします。その課題が、今週中に各教科担当から配付されますので計画的に学習を進めてください。